「エコドライブ講習会」

「クルマや家電製品の正しくより良い使い方を大切に」

坂東エネルギー・環境研究所代表の坂東誠さんが解説

エコドライブシュミレーターでのエコドライブ疑似体験も

富士宮市は18日、同市役所で「エコドライブ講習会」を開いた・地球温暖化防止対策や大気汚染防止に有効なドライブの基礎や効果について説明する講習会は「いますぐ実践できる。燃費代が節約できる。安全運転につながる」の3つのメリットを学び、無理なくできる地球温暖化対策の取り組みとして企画されたもので、午前・午後の部の講習にはそれぞれ一般市民や職員など20人が受講、会場に実施されたエコドライブシュミレーターでのエコドライブ疑似体験も行った。

講習では、坂東エネルギー・環境研究所代表の坂東誠さんが『世界遺産富士山のまち』で、賢くクルマを使おう」と題して解説を行い、ガソリン使用量を減らす工夫、エコドライブのすすめについては、穏やかにアクセルを踏んで発信する、車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転、減速時は早めにアクセルを離す、エアコンの使用は適切に、無駄なアイドリングはやめる、渋滞を避けて余裕を持って出発する、タイヤの空気圧から点検整備を習慣づける、不要な荷物はおろす、走行の妨げとなる駐車はやめる、自分の燃費を把握する、などの10のポイントを示して自分自身が実践していることを語り、エコドライブや省エネについて「クルマや家電製品の正しくより良い使い方を大切に、テクニックばかりではなく、それを使う自分自身の向上も忘れずに」と受講者にメッセージを送って講話を締めくくった。

生姜使用の『ホットパッチ』

ゆたか接骨院で販売取扱い

キャッチフレーズにした商品が話題を集めている。

生姜使用の『ホットパッチ』は、奈良の老舗シップメーカー㈱吉田養真堂が製造販売している新商品で、富士宮ではゆたか接骨院（淀平町・稲葉好紀院長）が販売取り扱いを行っている。

『ホットパッチ』は、生姜パウダー使用の温感シートで、通常の温感製品に比べてピリピリ感が少なく、芯から温かさが感じられ、貼った時にはヒヤッとせず、はがす時も痛くなく、香料や着色料を一切用いていないことから生姜本来の香りで「癒される」湿布として話題を集めている。「貼る生姜」として話題の『ホットパッチ』は、奈良県の90年近い歴史を持つ老舗の湿布メーカーが国内製造にこだわり商品化したもので、1袋10枚入りで販売している。

富士宮では現在、唯一取扱っているゆたか接骨院の稲葉好紀院長は、「当院に御出でになる患者さんが冬の寒い時期にはヒンヤリした湿布では抵抗があると話されていたことから、貼り始めに温かさを感じてもらうこ

湿布と言えば「ひんやり」とした感触が普通と考えられてきたが、「じんわり、あったか」を

随想

北野慈治

スクラップ整理して

2017年も残りわずかになった。我が山荘から望む風景も冬枯れの景色になった。

先日、天母山の法華道場の木村上人のお話を聴外の詩人の詩には見られるが、流れいかない記憶もあるものだ。

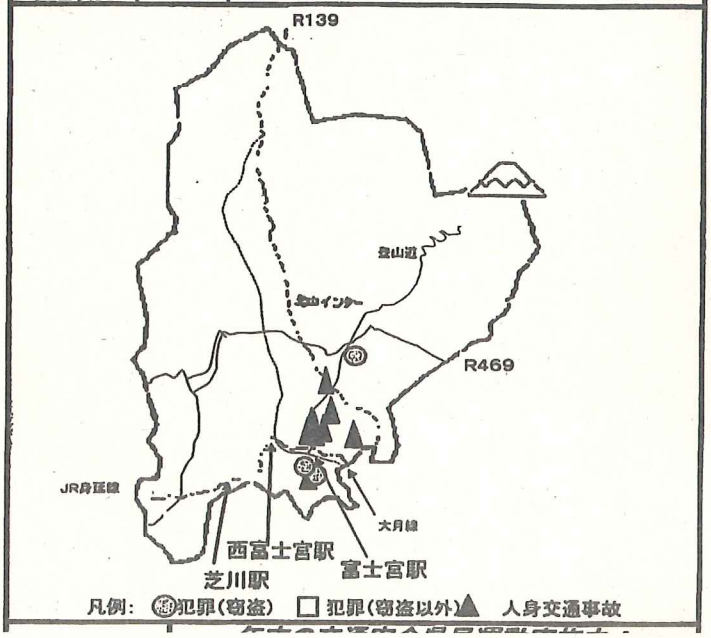
歴史は為政者が残したなき乱闘分裂で、疑惑追究も腰砕け、マスコミも権力従属でその使命も果たさずに、有耶無耶にされたままに国民が「納得しない」のに、尻切れトンボで、越年とともに忘れ去られていくことになる。

年貫く棒の如きもの」がある。来年も今年も還流する天智自然の理というものはある。年を貫いて求めなければならない政治の疑惑解明、公正公明な事業の真相追及、税金の使われ方の適正化を、新聞では「住民監査請求」が行われていたとの報道があったので、疑惑解明に追及を「貫いて」くれることを切に望みたい。さらには、北部に住む我が知人も強く関心を持っている朝霧高原のバイオマスプラント（3年後に解体される）と大型トリ

寒くなる人もいるかもしれない。

このほかにも、小生のスクラップ綴りには、今年も種々の政治の問題や疑惑の記事が貼り付けられた。悲しいことだが、不信感が募る問題の記事が多い。

「去年今年貫く棒の如

12月22日～12月24日の犯罪認知＆交通事故発生状況

犯罪認知状況	3件	置引き1件　自転車盗1件 窃盗未遂(侵入その他)1件
人身交通事故発生状況	8件	追突2件　車両相互（右折直進）1件 人対車両3件　車両相互（その他）2件